



日野町 まちのわだい

Town Topics



障がい者福祉について学ぶ

日野小学校6年生 わたむきの里訪問学習

12月11日(月)、20日(水)、21日(木)の3日間、日野小学校6年生が各クラスに分かれてわたむきの里作業所を訪問し、障がい者福祉などについて学びました。

児童は工コドームの見学をし、酒井施設長から施設の広さや利用者の人数、障がいの種類等についての講義を受けた後、作業所を見学しました。

実際に働いておられる姿やその人に合わせた道具等の工夫を見て、「いろいろな障がいの人に合わせた仕事があるんだな」と思いました。「1人1人が働きやすいように支援している職員さんってすごいなと思いました」と感想を発表していました。

利用者の方が作業されている中を見学しました



伝統に触れる

必佐小学校5年生 琴・尺八体験学習

12月12日(火)、必佐小学校で琴と尺八の体験学習が行なわれ、5年生が体験しました。

はじめに講師の「わたむき邦楽の会 夢絃」の皆さんの演奏を聞き、楽器の説明を受け、実際に体験しました。初めて触れる児童も多く、特に尺八は音を出すだけでもみんな大苦戦しました。きれいに音が出ると「やったあ!」と大喜びしていました。

高嶋快くん(湖南サンライズ)は、琴の演奏を体験して「最初は難しかったけど、楽譜を覚えて練習したら、すらすらと弾けるようになった」と感想を話してくれました。

友だちと教えあいながら楽しく練習しました



もっと知ってね!給食で食べる地場産野菜

南比都佐小学校4年生と 野菜生産者との交流

12月11日(月)、南比都佐小学校4年生が学校給食で食べている地場産野菜の知識を深めることを目的に、町内の野菜生産者(藤澤澄子さん・岡崎よし江さん・飯室清治さん)と交流しました。

南比都佐小学校では、全学年で地場産野菜である日野菜の学習に取り組みられており、今回の授業でもはじめに、児童から日野菜栽培で学んだことの発表などがありました。次に町の栄養士から、給食で食べている地場産野菜について、クイズを交えた説明や生産者への質問コーナーがありました。児童は地場産野菜の知識を深めるとともに、生産者とも交流する良い機会となりました。

生産者の皆さんが、心を込めて育ててくださった安全で新鮮でおいしい地場産野菜が学校給食でたくさん使われるといいですね。

クイズで楽しく交流しました



楽しい旬の話題をお知らせください

身近なできごとや旬の話題を企画振興課秘書広報担当

(役場1階・町長懇談室 / ☎ 0748-52-6550)までお知らせください
皆さんからの情報をお待ちしています!!



感謝の気持ちを託して

日野中学生から 葉ぼたんの贈り物

12月18日(月)、日野中学校生徒会の環境委員会、福祉委員会の皆さんから56鉢の「葉ぼたんの鉢植え」を役場をはじめ、町内の公共施設等25か所に寄贈いただきました。

生徒会では、3年前から年に1回、地域の方を講師に招き、鉢植え作業を指導していただいています。4年目となった今年度は、これまで指導していただいたことをふまえ、生徒が中心となって放課後にこつこつと作業をされました。環境委員長の岡井みずさん(鎌掛5区)は「地域の方に助けていただき、この活動を続けていくことができました。これからも地域の方々に協力していただきながら、さまざまな活動に取り組み、成長していきたいと思います」と話してくれました。

役場には両委員会の委員長と副委員長が代表で届けてくれました



南比都佐地区を駆け抜ける

新春マラソン大会

1月2日(火)、南比都佐公民館主催の「南比都佐地区新春マラソン大会」が開催され、南比都佐地区の方をはじめ、2歳児から73歳の方まで124名の方が南比都佐地区を駆け抜けました。

コースは約3kmのチャレンジコースと約2kmのファミリーコースがあり、ファミリーコースは家族揃って参加される方も多く、兄弟で競争したり、みんなでゴールしたり、皆さん笑顔で楽しく参加されていました。

家族仲良く
ゴールをめざしました



みんなで仲良く読んでね

日野高校生が 必佐幼稚園へ寄贈

日野高校生3年生のビジネス系列で商品開発販売実習の授業を選択している19名の生徒の皆さんが、日野駅「なないろ」で3回にわたり高校生カフェ@homeを開催されました。その実習で得た収入で絵本5冊を購入され、必佐幼稚園へ寄贈されました。

1月12日(金)に、実習を行なった生徒の皆さんが必佐幼稚園を訪れ、園児に絵本をプレゼントされました。園児は「やったあー」と大喜び。「みんなで仲よく読んでください」と言われると「はい」と元氣良く返事をしていました。日野高校生の皆さん、ありがとうございます。

絵本を手渡されて
とても喜んでいました

